

施策体系	審議会審議結果等	今年度の主な実施内容
<p>1 予防・早期発見</p> <p>(1) 予防</p> <p>①たばこ対策の充実、②生活習慣等の改善</p> <p>③がん予防に関する知識の普及・啓発</p> <p>(2) 早期発見</p> <p>①がん検診受診率の向上</p> <p>②がん検診の精度管理等</p>	<p>○予防・早期発見部会</p> <p>10月23日開催、3月書面開催</p> <p>・市町村及び集団検診機関における精度管理調査結果を検討するとともに、その結果を公表する。</p> <p>・個別検診機関における胃がん・乳がんの初回調査結果の検討及び今後の調査方針について検討する。</p>	<p>○県、ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターが共催するがん予防展・がん講演会を館山市で開催した。9月7日、8日のがん予防展では、延べ2,897人の参加があった。9月23日に開催を予定していたがん講演会は、台風15号の影響により中止となった。</p> <p>○ピンクリボンキャンペーンとして、スポーツ施設（千葉ロッテ、ジェフ千葉の本拠地）での啓発活動、乳がん自己触診模型の薬局巡回、乳房自己触診指導者等研修会を実施した。今年度の薬局巡回については、3市薬剤師会及び2企業で実施となった。乳房自己触診指導者等研修会は、50名の参加があった。</p> <p>○市町村等のがん検診担当者への研修を、がん検診の受診勧奨・精度管理等をテーマに開催し、市町村、検診機関等から81名の参加があった。</p> <p>○がん検診推進員育成講習会を県内6地域で開催し、208名の参加があった。</p>
<p>2 医療</p> <p>(1) がん医療</p> <p>①地域がん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院を中心とした医療提供体制の推進</p> <p>②地域医療連携体制の構築</p> <p>③がん医療を担う人材育成</p> <p>④がんゲノム医療提供体制づくりの検討</p> <p>⑤小児がん、AYA世代のがん 高齢者のがん</p> <p>⑥希少がん、難治性がん</p> <p>⑦口腔ケアに関する医科歯科連携</p>	<p>○がん対策審議会</p> <p>11月5日開催</p> <p>・地域がん診療連携拠点病院（高度型）として、船橋市立医療センター及び旭中央病院を、地域がん診療連携拠点病院として千葉医療センター等6病院を、山武長生夷隅医療圏に地域がん診療病院として、さんむ医療センターを、指定更新として推薦する方針を了承した。</p>	<p>○左記の審議会での審議結果を踏まえ、国へ推薦を行った。2月19日に国の検討会があり、本県が推薦した全機関の指定が了承された。</p> <p>○地域がん診療連携拠点病院等の機能強化を支援するため、10病院に142,051千円の助成を行った。</p> <p>○千葉県がん診療連携協力病院については、17病院を指定している。3月9日に選定協議会を開催し、指定要綱の改正について検討する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。（次年度の早い時点で開催予定。）</p> <p>○千葉県がん診療連携協議会（以下、診療連携協議会）では、協議会の他、教育・研修、院内がん登録、相談支援、緩和医療、地域連携クリティカルパス・臓器別腫瘍、PDCAサイクルの6つの専門部会及び12の部会で、計28回の会議を開催し、各分野の課題や取組を共有し、医療水準の向上に取り組んでいる。</p> <p>○診療連携協議会では、今年度から拠点病院と地域の歯科診療所の連携のための口腔ケアパスの運用を開始した。</p> <p>○がんゲノム医療中核拠点病院は全国11病院あり、県内では国立がん研究センター東病院が指定されている。がんゲノム医療拠点病院は全国に34病院あり、県内では千葉県がんセンターが令和元年9月19日付けで指定された。また、がんゲノム医療連携病院として、県内では千葉大学医学部附属病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、亀田総合病院の3病院が指定されている。</p> <p>○小児がん拠点病院は全国15か所あり、地域ブロックごとに指定される小児がん連携病院として、県内では千葉大学医学部附属病院、千葉県がんセンター、千葉県こども病院、成田赤十字病院、日本医科大学千葉北総病院の5病院が指定された。</p> <p>○診療連携協議会では、県内の小児がん診療について連携体制を整備するため、新たに小児がん専門部会を新年度から設置することを審議し、承認された。</p>
<p>3 がんとの共生</p> <p>(1) 緩和ケアの推進</p> <p>①がんと診断された時からの緩和ケアの推進</p> <p>②地域緩和ケアの推進</p>	<p>○緩和ケア推進部会</p> <p>・3月12日開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面により開催。</p> <p>・在宅緩和ケアの提供体制、緩和ケア研修会、介護スタッフのための緩和ケアマニュアル活用支援事業について検討予定。</p>	<p>○在宅療養支援診療所等の在宅緩和ケアに係る社会資源調査を実施し、「ちばがんナビ」を活用し情報発信。診療所は513施設を対象とし、302施設から回答があった。看取り施設数は174施設であり、計画策定時の155施設より増加している。</p> <p>○在宅緩和ケアの理解と普及を図るため、千葉県がんセンターに委託し、医療・介護従事者を対象とした研修及び意見交換会を実施した。研修会60名、意見交換会36名の参加があった。</p> <p>○「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」を活用し、サービス付き高齢者向け住宅及び有料老人ホームを対象とし、計2回の講師派遣を行った。</p> <p>○診療連携協議会緩和医療専門部会では、緩和ケアの質の向上に向けて、拠点病院及び協力病院の緩和ケアに関する取組や課題の共有を行った。</p>

施策体系	審議会審議結果等	今年度の主な実施内容
<p>3 がんとの共生</p> <p>(2) 相談・情報提供・患者の生活支援</p> <p>①相談支援の充実 ②情報提供の充実 ③就労支援の充実</p>	<p>○がんとの共生推進部会 1月21日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援に関する実態調査の結果を報告した。 ・来年度実施予定の両立支援に関する医療機関への実態調査について検討した。 ・アピアランスに関する情報を「ちばがんナビ」へ掲載することについて、承認いただいた。 ・来年度予定している、がんサポートブックの改訂について検討した。 	<p>○千葉県がんセンターに委託し、地域統括相談支援センター事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県がんピア・サポーターフォローアップ研修を実施し、25名が受講した。 ピア・サポーターズサロンちばを15病院で21回実施した。(ピアサポーター205名参加、相談者180名参加) ・「千葉県がん情報 ちばがんナビ」、「千葉県がんサポートブック」において、地域の療養情報について情報を発信した。 <p>○千葉労働局等と協働し、就労支援に関する情報を提供した。</p> <p>○千葉県がん患者団体連絡協議会では、がんゲノム医療をテーマに、がん患者大集合2019講演会を11月4日に開催し、県は共催団体として協力を行った。</p> <p>○千葉県がん患者団体連絡協議会では、インフォームドコンセントをテーマに、がん診療病院と患者会との意見交換会を2月29日に実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため7月26日に延期となった。</p>
<p>(3) がん教育</p>		<p>○がん教育に係る外部講師派遣制度により、講師派遣を希望する学校と医療機関等のマッチングを行い、拠点病院、協力病院、患者団体、市町村から27の学校に講師が派遣された。</p> <p>○千葉県がん教育推進協議会の設置準備を行った。</p> <p>○がん教育に係る外部講師の派遣が可能な機関については、全てで68機関となった。(昨年度：64機関)</p>
<p>(4) 子ども・AYA世代に応じたがん対策</p>	<p>○子ども・AYA世代部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月10日開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面により開催。 ・小児がん支援事業について検討する予定。 	<p>○小児・AYA世代がん患者、経験者、家族を対象としたピア・サポートサロン(茶話会)として、「小児・AYA世代がんの講演会・交流会」を2月29日に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。</p>
<p>4 研究等</p> <p>(1) がん研究</p> <p>①基礎研究・橋渡し研究の推進 ②臨床研究(臨床・治験等)の促進 ③将来のがん予防のための疫学研究の推進</p>		<p>○千葉県がんセンター研究所による基礎研究・橋渡し研修、臨床研究、がん予防のための疫学研究が実施されている。</p> <p>○千葉県がんセンターは、臨床研究中核病院である千葉大学医学部附属病院、国立がん研究センター東病院、その他の県内拠点病院等との連携を充実し、臨床試験・治験体制の整備を図っている。</p>
<p>(2) がん登録</p> <p>①全国がん登録 ②院内がん登録</p>	<p>○がん登録部会 7月26日開催</p>	<p>○全国がん登録事業を千葉県がんセンターに委託し実施している。令和元年度の届出件数は、2月末現在で67,505件である。</p> <p>○全国がん登録の情報の利用申請について、受付を行うとともに、県が情報を利用し、2016年確定値の報告書の作成を行っているところ。</p> <p>○千葉県がん登録事業報告書第23報(2015年確定値)を作成した。</p> <p>○診療連携協議会では、拠点病院及び協力病院の院内がん登録に関する取組や課題の共有を行い、院内がん登録の精度向上につなげている。</p>